

# 科 目 漢字の歴史を知らう

## 講師名 中上 秋翠

我々が日常には書くことの少ない篆書体や隸書体ですが、紙幣や新聞の題字、建物の表札や実印など、格式を感じさせるものには多く使われています。中国文明 5,000 年、漢字 3,000 年と言われる歴史の中で、一番長い歴史を持つ書体が篆書体、次が隸書体です。

今回の講座は、現存する最古の文字、甲骨文字から後漢時代の八分と言われる隸書まで、時代を追って変化してきた種々の文字を書いてみます。おおまか、紀元前のものですので、古代人が、絵や記号を書いている気分で筆順、形にはあまりとらわれずに、気楽に書いて楽しんでください。

書道用具は各自でご用意下さい。(筆、半紙、下敷き、墨汁)

【会場】 小岩くすのきカルチャーセンター

【曜日】 第2・4木曜日

【時間】 9:00～11:00

4～5月の日程(予定)

4月	9日	23日
5月	14日	28日

【教材費】12回700円

【指導内容または作品名】

- プロローグ、甲骨文字(亀甲文字)
- 甲骨文字(獣骨文字)
- 金文(図象銘)
- 金文(大孟鼎)
- 大篆(石鼓文)
- 木簡(郭店楚簡)
- 小篆(泰山刻石)
- 小篆(権量銘)
- 古隸(魯孝王刻石・萊子侯刻石)
- 古隸(居延漢簡)
- 八分(西狭頌)
- 八分(曹全碑)